

アーツカウンシル東京 伝統文化事業 外国人を対象にした体験・鑑賞プログラム 能「翁」ー神々との邂逅／Noh “OKINA” - Encounter with Deities 8月30日(水)プレス向け体験ワークショップ開催のご案内

アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)では、東京都と共に「伝統にふれる、東京に感動する。」「Approaching Tokyo Tradition」をテーマに、伝統文化・芸能に馴染みのない方々、外国人の方々に、そして伝統文化の未来を担う子供たちに向けて本格的な伝統文化・芸能を気軽にお楽しみいただけるよう、多彩な事業・プログラムを展開しております。その一環として、外国人の方々に日本の伝統芸能をより深く理解していただけるよう、伝統芸能の本格的な実演鑑賞と体験を組み合わせたプログラムとして、平成 30 年 1 月 27 日(土)に「能『翁』ー神々との邂逅／Noh “OKINA” - Encounter with Deities」と題し公演を行います。

単なる演劇とも儀式とも異なる、能楽特有の文化が内包されている演目「翁」を本来の式楽形式に基づき、日本の神々を題材とする「絵馬 女体」と共にご覧いただけます。また、外国人の方々に、古来より神々が日本人の日常生活に根ざした存在であることや、多くの日本の伝統文化の源流であると感じていただくため、普段は決して客席からは見ることのできない祭壇での神事の体験や、終演後のバックステージツアーなども実施する大変貴重な公演であり、新しい取り組みとなっております。

本公演に先立ち、特別な演目である能「翁」の演能の前に能楽師が清めることを目的に行う独特の神事を実際に体験いただき本公演の様子に触れていただけるよう、プレスの皆様に向け体験ワークショップを開催致します。

ご多用の折、誠に恐縮に存じますが、ご来場賜りますようお願い申し上げます



【プレス向け体験ワークショップ 概要】

- 開催 日：平成 29(2017)年 8月 30日(水)15:00～16:30 (受付開始:14:30～)
- 開催 場所：十四世喜多六平太記念能楽堂(喜多能楽堂) 東京都品川区上大崎 4-6-9 TEL:03-3491-8813
アクセス:JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分
- 入 場 料：無料
- 内 容：「翁に伴う神事体験とその意義の解説」 出演:友枝雄人ほか
神事(盃事)を皆様に体験していただくとともに、能「翁」の解説、バックステージツアー
- 主 催：アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)
- 助成・協力：東京都
- 企画制作：公益財団法人十四世六平太記念財団

お問い合わせ：十四世喜多六平太記念能楽堂(喜多能楽堂) 担当：勝田
TEL: 03-3491-8813(10:00-18:00/不定休)

<http://kita-noh.com/>

本公演(平成 30 年 1 月 27 日公演)
能「翁」—神々との邂逅／Noh “OKINA”-Encounter with Deities について

能「翁」—神々との邂逅／Noh “OKINA”-Encounter with Deities

今回の公演は外国人の方々へ向け日本の伝統芸能をより深く理解していただけるよう、伝統芸能の本格的な実演鑑賞と体験を組み合わせたプログラムです。「翁」という能楽において最も神聖な演目を通して日本人の根元的な部分、そこから広がる日本文化の香りを感じ取っていただきたいと考えております。

古来、役者自身が経験した事ではない事柄を演ずるといふ、擬似を観客に見せるという行為は日常空間では許される事ではありませんでした。それ故その演技によって見る人々を感動させた場合、それは騙す行為になるという感覚が日本人にはありました。しかしこれはその空間に神を伴う事により真実となり許されるのです。面をつけるという行為は神より許された証拠とも言えます。その為、「翁」では勤める役者(大夫と言います)が舞台上で面をつける行為を見せません。これは神に許され、その代理としてその日、その場を清める事ができると言う事を見せているのです。

面をつける事を許された役者は、神から許された限られた人間となります。それ故、昔より「翁」を勤める前の役者にはいろいろ厳しい決まり事があり、開演前の楽屋(鏡の間)には祭壇を作り神事を執り行い、舞台を清める人間自身を潔斎けっさいします。

今回の公演は、能楽師独特の神事と同様の体験を、ご来場のお客様にも客席の外側ロビーに特別に設置された祭壇にて体験していただき、その後で「翁」の演目を鑑賞いただける特別な公演です。

喜多流能楽師・友枝雄人

本公演(平成 30 年 1 月 27 日公演)プログラム内容

- 開 催 日: 平成 30(2018)年 1 月 27 日(土) 開場 12:30(開場と共に体験プログラム開始) 開演 13:30
- 開 催 場 所: 十四世喜多六平太記念能楽堂(喜多能楽堂) 東京都品川区上大崎 4-6-9 TEL:03-3491-8813
アクセス: JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分
- 入 場 料: 一般 3,000 円 学生 1,500 円
- 主 催: アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)
- 助 成・協 力: 東京都
- 企 画 制 作: 公益財団法人十四世六平太記念財団

12:30 開場～体験プログラム

ロビーに設置した祭壇にて能楽師指導の下、お客様にも演者と同様の神事を執り行っていただき潔斎と翁大夫を迎える心の準備をしていただきます。(清め塩・火打ち石による切火等)

※祭壇には「翁」に使用する面箱めんばこを祀り、それに向けて神事をさせていただきます。開演 10 分前には面箱は楽屋に厳かに移され、準備の整った出演者が潔斎に入ります。これにより演者、お客様が一つの神の下にて同様の潔斎を行ったこととなります。舞台と客席の一体感を体験していただく新しい試みともなります。

13:30～15:30 演能「翁付絵馬女体」

近年では、「翁」のみの公演で終わる事も多いのですが、本来は式楽形式としての「翁」に続き、神々がテーマとなる協能も演目として出すことが正式となっております。今回は日本の神々の中の主たる存在、太陽神である天照大神を題材にし、その岩戸隠れを再現する曲、「絵馬」を女体という特別演出で続けてご覧いただきます。すなわちそれが「翁付絵馬女体」という題目となります。翁大夫による、舞台上の神事と日本古来の神話の世界の両方をご覧いただきます。岩戸隠れの天鈿女命(アメノウズメ)の舞は日本の芸能の始まりと言われており、今回の企画に即した選曲です。

15:45～17:30 バックステージツアー

楽屋及び舞台上の「翁」「絵馬」の世界に触れていただきます。舞台には毛氈ももぐらを敷いて直接上がっていただきます。
※全てのプログラムには英語通訳(音声ガイドは英語・中国語)が対応予定です。

※内容は都合により変更になる場合があります。

<プレス向け体験ワークショップ 取材申込用紙>

公益財団法人 十四世六平太記念財団
十四世喜多六平太記念能楽堂(喜多能楽堂) 広報担当:勝田宛

FAX:03-3491-8999

MAIL:info@kita-noh.com

アーツカウンシル東京 伝統文化事業 外国人向け体験・鑑賞プログラム
能「翁」—神々との邂逅 Noh “OKINA” - Encounter with Deities
8月30日(水)15:00 プレス向け体験ワークショップ

ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、ご来場予定される場合には、必要事項をご記入のうえ、
8月25日(金)17:00までにファックス、又はメールでお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

| | |
|-----|-----------------|
| 貴社名 | |
| 媒体名 | |
| 御所属 | |
| 御芳名 | (名) |
| TEL | |
| カメラ | スチール 台 / ムービー 台 |